

10月1日 国勢調査

調査員の質問にはありのまま答えて下さい

調査区は全市一九五 調査員は一八一名です

今年の十月一日午前零時を期して全国一斉に「国勢調査」がおこなわれます。国勢調査は日本の国勢の実情を把握し、国の行政施策の基礎資料にするため、大正九年から五年ごとに行なわれてきました。

ことには九回目で十年目のごとくおこなわれる大規模調査に当たり同時に国連報告センサス計画の一環でもあります。

総理府統計局の予算は十一億五千万円、調査員四十万人、約二十四万枚の調査票用紙を使って調査をおこないます。

五所川原市でもこの調査に備えている準備が進められており、すでに調査区調査員が集めにまわっています。

期して地区担当の調査員が「調査員一斉に皆さんの家庭を訪ねる」という趣意をもち、調査員一人一人が調査区に割り振り、調査員が全世帯に調査票をくまなく配ります。調査員は「世帯主の記入」を期して調査票を記入し、十月一日午前零時以後に死亡した世帯主の記入は「常住地主」として記入し、十月一日から三日までに調査員が集めにまわります。

調査区は全市を一九五の調査区に区切り、調査員一八一名が調査に当たります。調査は十月二十五日ごろ調査員が全世帯に調査票をくまなく配ります。調査員は「世帯主の記入」を期して調査票を記入し、十月一日午前零時以後に死亡した世帯主の記入は「常住地主」として記入し、十月一日から三日までに調査員が集めにまわります。



発行所 五所川原市役所
電話(代) 2,111
印刷所 青森民友新聞社

| | |
|------|--------|
| 市の人口 | 8月現在 |
| 口 | 49,955 |
| 男 | 24,329 |
| 女 | 25,626 |
| 世帯数 | 9,454 |

選挙名簿の調整始まる

申告をお忘れなく

選挙管理委員会では本年十月二十日から明年十二月十九日までの間に「おこなわれる各種選挙における基本選挙人名簿の調整」を始めます。住所変更した人は、本年脱漏のため選挙出来なかつた人は九月中旬頃までに申告をお忘れなく申出してください。

選挙資格の要件は次のとおりです。
○住所要件 本年六月十六日以前から引続き五所川原市に住んでいる人(九月十五日現在で三ヶ月以上)脱漏および脱離の異議申立期間は右の期間と同じ
○年齢要件 昭和十五年二月二十一日以前に生れた人、(本年十二月二十日現在で満二十才)



市農業委員会会長に 沢田精一氏を決定

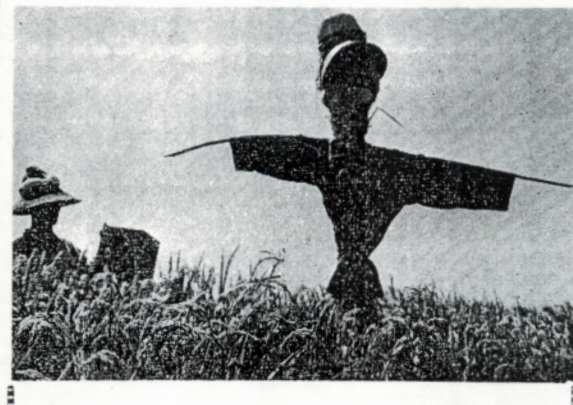
八月四日初総会

市農業委員会の委員は、前号でお知らせした公選委員三十名のほか、新たに農務局長 沢田精一(鶴ヶ岡) 会長 農務課長 福士太郎(高野) 農務課長 新井俊門(唐笠柳) 農務課長 平山武太郎(銘尾) 及び共済推進委員二十名、農務課長 増田繁信(飯詰)

市消防団幹部講習会終了

九月二十二日

青森県農業試験場では去る七月二十二日、第一回市内消防団幹部講習会は四日西郡高山神社でおこなわれた。



参加者は市長代理須郷助役をはじめ神田長、消防署長、消防署次長、消防団幹部約七十名が出席、講習会時間は午前八時から午後四時まで。

役、神田長の挨拶があり、井沼次長から教養訓練について説明があつて講習会を終了した。

九月二十二日 青森県農業試験場では去る七月二十二日、第一回市内消防団幹部講習会は四日西郡高山神社でおこなわれた。

納税についてお願い
税務課

納税組合に加入
いたしましょう

沖飯詰青年学級市政を勉強

市税課では納税貯蓄組合の設立について呼びかけて参りましたが、おかげで税に対する認識も高まり、みなさんの協力により、本年八月末で「一組合」の組合員三七七二名が、納税組合に加入し、納税が促進されております。納税組合は、納税の負担が軽減され、納税のしやすさが、納税の促進に効果的であると、市民のみなさんの全部が加入し、明るい市建設のためご協力願います。

沖飯詰青年学級市政を勉強
岩五郎氏)では秘書企画課長、山田秀雄氏を講師に招き、六日午後七時から沖飯詰小学校で青年学級を開設し、二時間以上おつたて財政問題について講義、その後関係、都市計画関係などについて質問があつて同十時終了した。

郵便省簡易保険局、日本放送協会、五所川原郵便局、五所川原市が主催しておこなわれた夏期講習会が八月十七日午前六時三十分から五小校区に約二千名が参加して盛大におこなわれた。

NKK巡回ラジオ体操
郵便省簡易保険局、日本放送協会、五所川原郵便局、五所川原市が主催しておこなわれた夏期講習会が八月十七日午前六時三十分から五小校区に約二千名が参加して盛大におこなわれた。

抛出国民年金
受付開始は十月一日から

市役所の歳入の四一・八パーセントが税金でまかなわれていたが、納税組合に加入したことで、納税の促進が、市財政に及ぼす影響は少なくはありませぬ。

